

- 問1 日本の諸地域のうち、年平均気温が23度を超え、最も寒い1月でも平均気温が15度を下回らない温暖な気候が特徴である、沖縄県の県庁所在地を次の中から選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 沖縄市                      2. 名護市                      3. 那覇市                      4. 石垣市
- 問2 かつて深刻な大気汚染などの公害を経験しましたが、その克服の歴史を活かし、現在はリサイクル産業などを集積させた「エコタウン」事業を推進している地域があります。九州地方の北部に位置し、官営八幡製鉄所の稼働以来、日本の工業を支えてきたこの都道府県はどこですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 広島県                      2. 福岡県                      3. 岡山県                      4. 兵庫県
- 問3 九州地方には阿蘇山や桜島などの活火山が多く存在しますが、これらの火山活動による地下の熱を利用した発電方法を何とといいますか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 原子力発電                      2. 地熱発電                      3. 水力発電                      4. 火力発電
- 問4 福岡県内には、政令指定都市が2つ存在します。1つはかつて官営八幡製鉄所が置かれ、工業都市として発展した都市ですが、もう1つは九州地方最大の人口規模を誇る県の県庁所在地であり、行政や商業の機能が集中している都市です。後者の都市名を答えなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 久留米市                      2. 福岡市                      3. 飯塚市                      4. 北九州市
- 問5 鹿児島県などに広がるシラス台地において、古くから稲作よりも畑作や畜産が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 河川から運ばれた土砂が固く堆積しており、田を耕すことができないため                      2. 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため                      3. 土壌に含まれる塩分濃度が高く、稲の根が枯れてしまうため                      4. 標高が高く年間を通じて気温が低いいため、稲の成長が著しく遅れるため
- 問6 日本国内のアメリカ軍専用施設面積の約70%が沖縄県に集中している現状に関連して、その背景や課題に関する記述として最も適切なものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 沖縄県の面積は日本全体の約10%を占めているため、面積比で見れば基地の割合は他県と同水準である。                      2. 1972年の本土復帰後も多くの施設が維持され、騒音や事故、跡地利用の制約などが住民生活に影響を与えている。                      3. アメリカ軍基地のほとんどは人が住んでいない離島に設置されているため、都市開発への影響は限定的である。                      4. サンフランシスコ平和条約の発効と同時にすべての基地が本土へ移転したため、現在は沖縄県の負担は解消されている。
- 問7 九州地方南部の太平洋側に位置する宮崎県において、年間降水量が3000mmを超える国内有数の多雨地域となり、かつ年間を通じて温暖な気候が形成される要因として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響を受けて年間を通じて温暖だが、中国山地と四国山地に挟まれているため、年間を通じて降水量は少なくなる。                      2. 黒潮（日本海流）の影響で気温は高いが、周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であるため、湿った空気が入り込まず降水量は少なくなる。                      3. 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けて温暖であり、夏から秋にかけての台風や湿った季節風の影響で降水量が多くなる。                      4. 寒流である親潮（千島海流）の影響により夏でも涼しく、冬にシベリア高気圧から吹き出す湿った北西の季節風の影響で降水量が多くなる。
- 問8 鹿児島県などの南九州地方において、農業産出額に占める畜産の割合が他の地域に比べて非常に高い理由として、地形や土壌の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 火山灰が堆積してきたシラス台地は水はけが良く、稲作に向きない土地が多かったため、広大な土地を畜産に利用したから。                      2. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、冬の間の農作業が困難であるため、屋内で行える畜産業が選択されたから。                      3. 急峻な山地が多く、高冷地での野菜栽培が盛んであったが、連作障害を避けるために家畜を導入したから。                      4. リアス海岸が続く複雑な地形で耕地面積が狭いため、限られた土地で効率よく収益を上げられる畜産に特化したから。
- 問9 九州地方南部で、稲作ではなく、さつまいもや茶の栽培、豚や肉牛の飼育などの畜産業が盛んになった理由として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 一帯が低湿地となっており、水はけが悪くて作物の根腐れが起きやすいため。                      2. 標高が非常に高いため年間を通じて気温が低く、米が育たないため。                      3. 年間を通して降水量が極めて少なく、農業用水を確保することができないため。                      4. 火山噴出物からなる台地が広がり、水はけがよすぎて水田に水を溜めにくいから。
- 問10 都市の人口構造に関する記述として、那覇市（昼夜間人口比率 約109.6%）と、その隣接する豊見城市（同 約92.2%）の関係性を正しく説明しているものを選んでください。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 那覇市は行政や経済の中心地としての役割が強く、豊見城市は那覇市へ通う人々の住宅都市としての側面が強い。                      2. 那覇市は観光開発によって一時的な滞在者が増えており、豊見城市は農業を中心とした自給自足的な地域である。                      3. 那覇市と豊見城市の間で、日中の買い物客の移動が双方向に均等に行われていることを示している。                      4. 那覇市ではドーナツ化現象により夜間人口が急減しており、豊見城市では都市回帰現象により夜間人口が急増している。
- 問11 沖縄県の竹富町などに見られる伝統的な家屋では、家の周囲を石垣で囲み、防風林を植え、さらに屋根瓦をしっくいで固めるといった工夫が見られます。このような独自の住居様式が発達した理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 冬に吹く冷たくて強い季節風を遮り、屋内の温度を一定に保つため                      2. 地震が発生した際に、振動による建物の倒壊や屋根瓦の崩落を防ぐため                      3. 夏から秋にかけて接近・上陸する台風による強風の被害を防ぐため                      4. 近隣の火山が噴火した際に、降り積もる火山灰の重みに耐えるため
- 問12 2020年のブリ類の生産統計において、海面養殖業の収穫量が全国合計（約13万7千トン）の過半数を占めている九州地方の状況として、適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 九州地方は天然のブリ類を対象とした海面漁獲量が全国で最も多く、長崎県や島根県が全国の収穫量の過半数を占めている。                      2. 海面養殖業の収穫量上位5県はすべて太平洋側に位置しており、九州地方では宮崎県のみがその中に含まれている。                      3. 鹿児島県が約4万3千トンと全国で最も多い収穫量を記録しており、大分県や宮崎県と合わせた九州3県で全国の過半数を占めている。                      4. 海面養殖業よりも海面漁獲量の方が全国の生産量は多く、九州地方では養殖よりも北海道などから運ばれる天然ものの流通が中心である。